

作成年月日	平成26年11月25日
作成部局 課室名	産業労働部観光交流課

## 関西広域連合 東南アジアトッププロモーションの実施結果概要

アベノミクス等の影響による円安基調、富士山の世界文化遺産登録、日本の食文化や温泉人気などにより、昨年の訪日外国人観光客は1000万人の大台を突破した。また昨年末に、日本の文化を象徴する「和食」が世界無形文化遺産に登録されるなど、外国人観光客はますます増加する傾向にあり、本年は1300万人に届く勢いと予想されている。

関西広域連合（連合長：井戸敏三兵庫県知事）は、中国を中心とする東アジア諸国を対象に、関西への誘客促進のためのトッププロモーションを実施してきたが、本年は、昨今の経済発展が著しく、とりわけビザの免除により訪日観光客が大幅に増加しているタイおよびマレーシアにおいて、「関西」の認知度向上・誘客促進を目的として、11月19日から22日にかけてトッププロモーションを実施した。

トッププロモーションには、連合に加盟する7府県の知事・副知事や観光責任者をはじめ、近畿運輸局、関西経済連合会、新関西国際空港株式会社などの参加を得て、魅力あふれる関西地域の観光資源や食文化、そして日本の安全・安心のPRを行った。

タイでは、政府観光庁および観光スポーツ省を表敬訪問し、日本の歴史と文化を育んできた関西の魅力を伝えるとともに、現地の旅行会社やメディアなど観光関係者を招聘した観光セミナーやレセプションを開催し、関西の観光資源や食文化を紹介した。また、レセプションでは、日本の伝統文化である十二単着付け体験や「KANSAI 観光大使」の任命式を行った。

マレーシアでは、観光文化省や旅行業協会などを表敬訪問するとともに、イオンアセアン本社の協力を得て、クアラルンプールで最大級といわれる「ワンウタマショッピングセンター」において「関西観光・物産展」を開催し、関西から参加した13企業、48商品の展示即売や、東南アジアでも人気の高い日本のコスプレやアニメソングのパフォーマンスを交えた観光プロモーションを実施した。

## 1 出発式

日 時：11月19日（水）9:30～10:00

場 所：関西国際空港会議室「なにわ」

出席者：井戸知事(連合長)、林鳥取県副知事、熊谷徳島県副知事、糟谷京都市観光政策監、土屋近畿運輸局長、福島新関西国際空港株式会社社長、光山日本旅行業協会関西支部長 ほか

来 賓：ウィット・チットウィマーン 在大阪タイ王国総領事

内 容：○井戸連合長より、関西広域連合でのトッププロモーションは今回が4回目となる。今回は、タイ・マレーシアを訪問する。両国ともに平成25年7月よりビザが免除されたことから訪日観光客が大幅に増加している。タイから日本への訪日外国人客数は、昨年20万人増加し45万人となっている。マレーシアから日本への訪日外国人客数は、平成24年が13万人だったのが、平成25年には17万6千人と増加している。両国ともに、更に訪日旅行客数が増加する見込みが大きい。そこで、今回のトッププロモーションでは関西の魅力を伝えたいと述べた。○ウィット総領事は、タイの国民は日本が大好きで、ビザが緩和されたことにより一層訪問しやすくなったことから、訪日観光客が大幅に増加している。今回のトッププロモーションに参加された多くの方々から、積極的に「関西」の魅力をPRしていただくことによって、関西地域との交流がますます深まることを大いに期待していると述べられた。



【 井戸連合長挨拶 】



【 ウィット総領事挨拶 】

## 2 タイ交流レセプション

日 時：11月19日（日）19:00～21:00

場 所：ザ ウェスティン グランデ スクンビット

出席者：井戸知事(連合長)、山田京都府知事、林鳥取県副知事、熊谷徳島県副知事、大江大阪府府民文化部長、木村滋賀県観光交流局長、藤本和歌山県商工観光労働部長、糟谷京都市観光政策監、土屋近畿運輸局長、福島新関西国際空港株式会社社長、光山日本旅行業協会関西支部長 ほか

招待者：佐藤重和在タイ日本国特命全権大使、大橋寅次郎タイ国日本人会会長、安尾典之バンコク日本人商工会議所副会頭、クリチャナット ミーサムラン タイ旅行代理店協会理事、モンチャイ チャンバクル トラベラーズ コンパニオン編集長、吉川歩 アジア トラベル デザイン社長、タナボディー バジャラシア インターナショナル ツーリズム センター社長 ほか

内 容：○タイの旅行会社やメディア関係者約50名を招き、食を中心とした関西の魅力やワールドマスターズゲームズをPRするとともに、KANSAI 観光大使の吉川社長夫人をモデルとする十二単の着付け体験などのパフォーマンスを披露した。

また、日本向けツアーを積極的に実施している旅行会社「アジア トラベル デザイン」の吉川 歩（よしかわ あゆみ）02 アジア トラベル デザイン社長、「インターナショナル ツーリズム センター」のタナボディー バジャラシア社長の2名をKANSAI 観光大使に任命し、井戸連合長より委嘱状を交付した。



【 井戸連合長挨拶 】



【 観光大使任命式 】



【 ワールドマスターズPR 】



【 十二単 着付け体験 】

## KANSAI 観光大使 会社概要

### ○吉川歩 02 アジア トラベル デザイン社長

日本の大手ホテルチェーンのバンコク事務所としてインバウンド支援業務をサポートするとともに、タイ富裕層向けのオーダーメイド旅行のみを提供。また、タイ中間層・富裕層向け旅行雑誌「THE CUE JAPAN」を出版。

### ○タナボディー バジャラシア インターナショナル ツーリズム センター社長

タイとインドシナ全域を網羅する旅行事業者。タイ国内の4か所に事務所を持ち、インセンティブ旅行、VIPサービス、ファミリーサービスに特化したツアーを提供。昨年12月に神姫バスと事業提携し、兵庫県を周遊する旅行企画など、日タイ相互送客に貢献。

### 3 タイ政府観光庁副総裁表敬訪問

日 時：11月20日（木）10:00～10:30

場 所：タイ政府観光庁

出席者：井戸知事(連合長)、山田京都府知事、熊谷徳島県副知事、大江大阪府府民文化部長、木村滋賀県観光交流局長、藤本和歌山県商工観光労働部長、糟谷京都市観光政策監、平井京都府観光政策監、土屋近畿運輸局長、福島新関西国際空港株式会社社長、光山日本旅行業協会関西支部長 ほか

対応者：ポンサトーン ケササムリ タイ政府観光庁副総裁

内 容：○井戸連合長から、関西広域連合は府県を越えて2府5県4政令市が連携。関西は日本の歴史文化の宝庫、食べ物や街並み、自然や温泉など多様な観光資源を持つ。特に冬場は日本海の蟹が人気。タイからの観光客は今年60万人を超えるだろう。しかし、関西の訪問率は36%。これを80%以上にしていただきたい。2020年の東京オリンピック、パラリンピックそして翌2021年には関西でアジア初のワールドマスターゲームズが行われ多くの外国が参加する。

本日は、ウェスティンホテルでセミナーを実施し、旅行会社やメディア関係者の方々へPRしており、今後は、訪日教育旅行にも期待している。

タイからは多くの観光客を日本に送り込んでいただいております、本年9月ツーリズムEXPO ジャパンにおいてタイ政府観光庁は日本旅行業協会（JATA）のツーリズム大賞・最優秀賞を受賞。

兵庫県も8年前、チェンマイの花博に京都と大阪とで連携出展した時もアワードをいただいた。今年は、タイ国際観光フェア（TITF）に広域連合として出展した。今後ますます交流が深まる日タイ、中でも関西との交流が深まることを願っている。

9年前、震災の経験を伝えるためにプーケットを訪れたが、2017年にエメックス会議がプーケットで開催されるので再び訪問する予定。

タイで、日本酒を造っていただいているが、気候の関係で良い品質のものが作れない。是非、日本から輸入していただきたい。

○山田知事から、日本では地方公共団体の力が強く、中央政府から独立した権限を与えられており、観光をはじめいろいろな活動ができる。特に観光は、地方公共団体の力が強い。関西地域は、人口2千万人、GDPはカナダに並ぶ。タイの観光庁と連携し、ウインーウインの関係にしたいと述べた。

○ポンサトーン タイ政府観光庁副総裁より、今回のミッションは関西への誘客促進であるが、日タイ両国の交流になる。関西地域は、日本を代表する大きな経済圏だけでなく、日本文化の魅力溢れる地域であることを多くのタイ人が知っている。一方タイでは、政情が不安定で日本からの観光客が減っている。去年は前年度比12%増だったが、今年は前年比で10%減。だが、日本からの観光客は100万人を超えている。今回の訪問で政情が落ち着いていることを確認いただき、日本に戻りタイへの観光についてPRしていただきたい。特に、ラムパーン県など北部12県(※)を新たな観光資源としてPRしていきたいと考えている。

タイから日本へは昨年45万人（対前年度比70%増）。今年は9月で43万人と昨年を大きく超えるだろう。関西広域連合とは、今後官民連携で日タイの相互交流に努めたい。

日本へ行きたいと思うタイ人は多数いるが、まだタイには富裕層が多く存在していないため海外旅行が一般的になるのはまだまだこれから。今後、リピーターが増えることにより関西の訪問率が高まっていくだろう。

山田知事より地方自治体の力が強いことを聞いたが、私もJICAで日本の地方自治について学んだことがある。タイもプーケットやチェンマイなど自治体で観光PRしているが、関西のように連携していない。

タイ人は、日本の梅酒が大好き。日本に行くとタイ人は、梅酒を注文する。タイでも梅酒づくりに挑戦している。

来年、ディスカバータイネスという観光キャンペーンを実施するので是非、訪問して欲しいと述べられた。



【 タイ政府観光庁副総裁表敬訪問 】

※ ウッタラディット県、スコートタイ県、ターク県、チェンマイ県、チェンラーイ県、ナーン県、パヤオ県、ピッサヌローク県、プレー県、ラムパーン県、ラムプーン県、メーホンソン県

#### 4 タイ観光スポーツ大臣表敬訪問

日時：11月20日（木）11:30～12:00

場所：タイ政府観光スポーツ省

出席者：井戸知事（連合長）、山田京都府知事、熊谷徳島県副知事、大江大阪府府民文化部長、木村滋賀県観光交流局長、藤本和歌山県商工観光労働部長、糟谷京都市観光政策監、平井京都府観光政策監、土屋近畿運輸局長、福島新関西国際空港株式会社社長、光山日本旅行業協会関西支部長 ほか

対応者：コップカーン ワッタナワンクーン 観光スポーツ大臣

内容：○井戸連合長から、関西広域連合は府県を越えて2府5県4政令市が連携し、本日の午前中に関西観光セミナーを開催している。昨年7月のビザ免除により、タイからの訪日観光客が急増。昨年は45万人、今年はずでに45万人を超えて

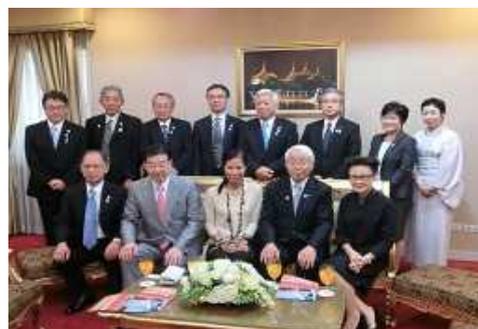
おり60万人に届くのではないかと。残念ながら関西への訪問率は、4割に満たない。これを是非、80%にしたい。昨日、タイに入りバンコクの政情も落ち着いているのを目にした。日本からもタイへ訪問するようにPRしたい。2020年の東京オリンピック、パラリンピックそして翌2021年関西でワールドマスターゲームズが行われる。アジアで初のワールドマスターズゲームズであり、スポーツツーリズムをはじめ関西とタイとの交流促進を期待している。

○コップカーン観光スポーツ大臣より、日本からタイへの観光客が一番多く、日本はとてもよい印象。日タイの友好の絆の歴史は古く日本へ行きたいタイ人は多い。観光客もリピーターが多いので、これから、関西でしか味わえない日本の魅力を発信して欲しい。例えば、タイも高齢化社会に入ったが、高齢者向けの観光資源なども紹介して欲しい。

日本からタイへも多くの観光客に来て欲しい。是非、ロコミなどのPRに協力して欲しい。タイも来年、ディスカバータイネスという観光キャンペーンを実施する。特に北部の12県では、昔ながらのタイの生活様式が残っており、これを新たな観光資源としてPRしたい。

ラグビーワールドカップが2019年に日本で行われると聞いている。タイでもアジアビーチゲームをプーケットで開催する。日本からもチームを派遣してもらいたい。スポーツツーリズムは、競技よりも健康目的のトレーニングが重要。現在、プーケットにトレーニング施設を建設中。

日タイ双方向の交流を一層促進していきたい。そのためには、このような地域間交流は大切だと述べた。



【 タイ観光スポーツ大臣表敬訪問 】

## 5 タイ旅行セミナー

日 時：11月20日（木）10:00～11:00

場 所：ザ ウェスティン グランデ スクンビット

招待者：現地旅行代理店・メディア等 27社31人

内 容：○京都府亀澤参事から冒頭あいさつの後、タイの旅行会社や、メディア関係者を対象に関西の「食」「マンガ・アニメ」等についての観光プレゼン映像・ポスター展示によるPRや、十二単の着付けデモンストレーションを行い、関西への誘客促進を図った。



## 【 タイ旅行セミナー 】

### 6 マレーシア旅行業協会（MATT A）副部長表敬訪問

日 時：11月21日（金）10:30～11:15

出席者：井戸知事（連合長）、山田京都府知事、林鳥取県副知事、熊谷徳島県副知事、木村滋賀県観光交流局長、大江大阪府府民文化部長、藤本和歌山県商工観光労働部長、平井京都府観光政策監、糟谷京都市観光政策監、土屋近畿運輸局長、福島新関西国際空港株式会社会長、光山日本旅行業協会関西支部長 ほか

対応者：ビマラ デビ シンナドライ マレーシア旅行業協会副部長

内 容：○井戸連合長から、ビザ免除により日本への旅行者が飛躍的に増加しており、昨年は対前年度比40%の増加、177,000人である。今年は20万人を超えるだろう。関空に礼拝所を設け、ホテルやレストランなどでも食事等に配慮して、関西ではムスリムフレンドリーに取り組んでいる。来年、三田食肉センターにハラルに対応した専用設備導入の予定。是非、神戸ビーフを味わっていただきたい。ドバイの皇太子やサウジアラビアの王子にも神戸ビーフを味わっていただいた。また、関西には特色ある美味しい食べ物が豊富にある。関西には、積雪のエリアもあるので雪を楽しんでいただきたい。本日、プリンスホテルで観光セミナーを開催している。訪日教育旅行をお願いしたい。ホームステイでハラル対応は難しいかもしれないが、可能な限り対応させていただく。2020年の東京オリンピック、パラリンピックそして翌2021年関西でワールドマスターゲームズが行われる。アジアで初のワールドマスターズゲームズ。スポーツツーリズムをはじめ、関西とマレーシアの交流を促進していきたい。

○シンナドライ マレーシア旅行業協会副部長より、関西の自治体が一体となって観光PRに來られることを歓迎する。マレーシアでは、日本へ旅行したいという希望が多く、一番人気が高い。MATT Aの会員3100社の半分がアウトバンド専門、今回の訪日ビザの免除を歓迎している。MATT Aのメンバーが11月19日から23日、大阪を訪問中である。空港に礼拝所があることはありがたい。クアラルンプールと関空は、さらに直行便を増やしてほしい。ムスリムが期待することは、料理の準備段階で独立したキッチンと料理器具で専用のものを使ってほしい。とさつ処理もイスラム教徒の人にしてほしい。それが難しければ魚介類と野菜にしてほしいと述べられた。



【マレーシア旅行業協会副部長表敬訪問】

## 7 マレーシア観光展・物産展オープニングセレモニー

日 時：11月21日（金）12:00～12:50

場 所：クアラルンプール ワンウタマンショッピングセンター センターコート

出席者：井戸知事（連合長）、山田京都府知事、林鳥取県副知事、熊谷徳島県副知事、木村滋賀県観光交流局長、大江大阪府府民文化部長、藤本和歌山県商工観光労働部長、平井京都府観光政策監、糟谷京都市観光政策監、土屋近畿運輸局長、福島新関西国際空港株式会社社長、光山日本旅行業協会関西支部長 ほか

内 容：○11月21日から30日の10日間、関西観光・物産展を開催。連合加盟府県の13企業から菓子類、加工食品など48品目の商品の展示即売会を実施する。○オープニングにおいて井戸連合長から、関西は2府5県で構成されている。アニメ、漫画を通じて関西を知っていただきたい。

今回のイベントはイオンクアラルンプールの30周年を記念して企画していただいた。関空には礼拝所があり、神戸にはモスクがある。関西ではムスリムフレンドリーの取組も進めている。関西には、素晴らしい観光地や特産品が沢山ある。是非、訪問いただきたいと述べた。

○尾山イオンアセアン本社取締役社長より、イオンはマハティール前首相の招きによりマレーシアに進出。イオンクアラルンプールは30周年を迎え、現在、32店舗ある。今回は、日本の食の魅力を伝えるイベント、「クール&テイスティジャパン」を企画。日本の各府県等と包括連携協定を締結し、観光等で連携している。また、外国人の免税対応などにも取り組んでいると述べられた。

○開会宣言は「Enjoy KANSAI, We are waiting for you!」であった。



【 井戸連合長挨拶 】



【 オープニングイベント 】

## 8 イオンとの意見交換

日 時：11月21日（金）13:00～13:15

場 所：ワンワールドホテル

出席者：井戸知事(連合長)、山田京都府知事 福島新関西国際空港(株)会長 ほか

内 容：○井戸連合長より、「クール&テイスティジャパン」を企画していただき、尾山社長に感謝。マレーシア、クアラルンプールの人々が日本に関心を持っていることがよくわかった。マレーシアから日本への訪日客は4割増。まだ、17万7千人。今後、有力なインバウンド市場と言える。難しいのは、ムスリム対応で、関空に3か所の礼拝所が設置され、兵庫にはモスクがある。三田食肉センターにハラールに対応した専用設備を導入の予定。神戸ビーフ、野菜、米、特にコウノトリ米などを売り込んでいきたい。オープニングで神戸出身でクアラルンプール在住の方に声をかけられた。リタイア後、長期滞在ビザ（MM2H）で5年住んでいるとのこと。このような人もターゲットとして期待できるので、イオンには、もっと関西の産品を扱っていただきたいと述べた。

○尾山イオンアセアン本社社長より、イオンマレーシアは外資に比べると進出が遅かった。現在、イオンマレーシアの社長は、マレーシア人となりマレーシアでのニーズ把握が明確になった。岩手県や広島県フェアなど地域直結フェアを実施しているが今後は、関西広域連合との連携のように広域団体との連携をやっていききたい。関西広域連合とも包括連携協定を結ぶことを考えたいと述べられた。

○福島会長より、関西の農産物のフェアをアジアで実施している。関空から飛行機で運ぶので鮮度は高いが、高価であるため付加価値のあるものに限定している。現地の日本人も大きな市場と考えている。また、可能であればイオンと実施したいと述べた。



【 イオンとの意見交換会 】

## 9 マレーシア観光文化省審議官訪問

日 時：11月21日（金）15:00～15:45

場 所：マレーシア観光文化省

政府側：ジュナイダ観光文化省審議官

連合側：井戸知事(連合長)、山田京都府知事、林鳥取県副知事、熊谷徳島県副知事、木村滋賀県観光交流局長、大江大阪府府民文化部長、藤本和歌山県商工観光労働部長、平井京都府観光政策監、糟谷京都市観光政策監、土屋近畿運輸局長、福島新関西国際空港株式会社社長、光山日本旅行業協会関西支部長 ほか

内 容：○井戸連合長より、マレーシアでは海外旅行をされる方が年間1000万人。訪日客は17万人、全体の2%に満たないのでこれからの大きな市場として期待。関西ではハラルへの対応などに努力しており、関西への訪問率は30%だが、80%ぐらいにしたい。観光や文化は広域にまたがることから、関西広域連合で積極的にPRしたい。先程、イオンのイベント会場で神戸出身マレーシア在住の方に会った。長期滞在ビザ（MM2H）を利用されているとのこと。

もう一つ期待しているのは訪日教育旅行。昨年8校をマレーシアから受け入れた。食事は、野菜と魚介類であればホームステイも可能と聞いている。

2020年の東京オリンピック、パラリンピック、そして翌2021年関西でワールドマスターゲームズが行われる。マレーシアでは、2018年にアジアワールドマスターズゲームズが開催されるので連携していきたい。相互に来訪者を増やす努力が必要。そうすれば航空便も増えるだろう。

○ジュナイダ観光文化省審議官より、日本の観光で京都・大阪・神戸は注目度の高い地域。2013年、マレーシアから日本への観光客は35%増。日本のビザ免除が大きな要因。クアラルンプールから46の地域へ直行便が飛んでいるが日本への直行便は非常に少ない。

2014年2月、マレーシアの観光大臣が大阪を訪問。メディアエクステンションの提携を結び、相互にメディアを招へいする。今年は、「関西ウォーカー」という雑誌がマレーシアを訪問した。MM2Hのロングステイなどもあり、日本からの観光客は2013年で51万人、目標は100万人。情報交換を密に相互の観光客増に努力したい。

これから、関西広域連合と連携するにあたり双方に担当官を設置していきたい。マレーシアの人は家族旅行が多いので家族向けの提案などがあるがたい。

日本は、訪問したい国で一番人気が高い。ビザの免除で若い人の訪日機会も増加。個人旅行も今後、ますます増加するだろう。



【 ジュナイダ観光文化省審議官との情報交換・交流会 】

## 10 在マレーシア日本国特命全権大使表敬訪問

日時：11月21日（金） 17:00～17:30

場所：在マレーシア日本国大使館

出席者：井戸知事（連合長）、山田京都府知事、熊谷徳島県副知事、大江大阪府府民文化部長、木村滋賀県観光交流局長、藤本和歌山県商工観光労働部長、糟谷京都市観光政策監、平井京都府観光政策監、土屋近畿運輸局長、福島新関西国際空港株式会社社長、光山日本旅行業協会関西支部長 ほか

内容：○井戸連合長よりビザの免除でマレーシアからの観光客が大幅に増。2020年の東京オリンピック、パラリンピックそして翌2021年関西でワールドマスターゲームズが行われる。ハラル対応については関西でムスリムフレンドリーに取り組んでいる。また、訪日教育旅行にも取り組んでいる。

○宮川大使より、ビザ免除以降訪日観光客が1.5倍に増えた。雪、温泉、日本食が人気。また、京都の文化や歴史も注目されている。マハティール前首相のロックイーストが第2段階となり、日本へ留学生を送りたいが経済的な事情により思うように進んでいない。文科省からの奨学金もなかなか難しく、住むところが見つからないなどの問題がある。

マレーシアはバドミントンが人気。ワールドマスターズでバドミントンの友好親善試合をしてみてもどうかとの提案があった。

○井戸連合長より、兵庫にはHUMAPというプログラムがある。年間10名ほどだが是非、検討されたいと述べた。

○山田知事より、学生の町「京都」では留学生寮を3つ新設したので是非活用されたいと述べた。



【在マレーシア日本国特命全権大使表敬訪問】

## 1.1 マレーシア旅行セミナー

日時：11月21日（金）10:00～11:00

場所：プリンスホテル&レジデンス クアラルンプール

招待者：現地旅行代理店・メディア等 25社 38名

内容：○冒頭、土屋近畿運輸局長より挨拶がなされた後、マレーシアの旅行代理店、メディア等を対象に関西の「食」「マンガ・アニメ」等についての観光プレゼン映像によるPRや十二単の着付けデモンストレーションを行い、関西への誘客を行った。



【 マレーシア旅行セミナー 】

### 日程

日程	時刻	概要（主な行事予定等）
11月19日 （水）	9:30～10:00 11:00～15:45 19:00～21:00	出発式 関西国際空港発→スワンポーム国際空港着 タイ交流レセプション
11月20日 （木）	10:00～12:00 10:00～11:00 16:40～19:50	表敬訪問（タイ政府観光・観光スポーツ省） タイ旅行セミナー スワンポーム国際空港発→クアラルンプール国際空港着
11月21日 （金）	10:00～11:00 10:30～11:15 12:00～12:50 13:00～13:15 15:00～15:45 17:00～17:30 21:00～22:05 23:15	マレーシア旅行セミナー 表敬訪問（マレーシア旅行業協会） 観光展・物産展オープニングセレモニー 「Cool&Tasty Japan in Malaysia 2014」 イオンとの意見交換 表敬訪問（マレーシア観光文化省） 表敬訪問（日本国大使） クアラルンプール国際空港発→スワンポーム国際空港着 スワンポーム国際空港発
11月22日 （土）	6:25	関西国際空港着

〈問い合わせ先〉

産業労働部観光交流課 TEL078-362-3340